

事例 10 国有林モニターを対象とした説明会の開催

(四国森林管理局)



- 高知県土佐郡(とさぐん)
土佐町(とさちょう)
石原山(いしはらやま)
国有林
- 林業機械による材の荷下ろし作業見学の様子

四国森林管理局では、国有林野の管理経営の取組に対する理解促進や意見聴取を目的として、国有林野事業を行う現場等で国有林モニターを対象とした説明会を開催しています。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の状況や、各県からの感染症対策に係る要請を踏まえ、マスクの着用や換気等の感染対策に十分配慮した上で、2回の説明会を開催しました。

このうち8月に開催した第1回説明会には、モニター21名が参加し、CLTを使用して建築された^{れいほく}嶺北森林管理署庁舎の見学や、国有林野事業の説明等を行ったほか、同署管内において、森林作業道の作設や林業機械による荷下ろしの様子、無人航空機の活用、獣害対策等の見学を行いました。

モニターからは、「無人航空機を利用することで、災害時等にも役立つと思うので、今後の利用方法にも期待したい」、「森林管理局・署の取組をもっとPRすべき」といった意見が出され、今後の国有林野の管理経営に活かすこととしています。

今後も、新型コロナウイルス感染症の状況等に十分配慮しつつ、国有林野の管理経営の取組に対する理解促進に資するようモニターに対する説明会等を開催していくこととしています。